

2017年12月期 決算説明会

2018年 2月 26日

日本ライオン株式会社

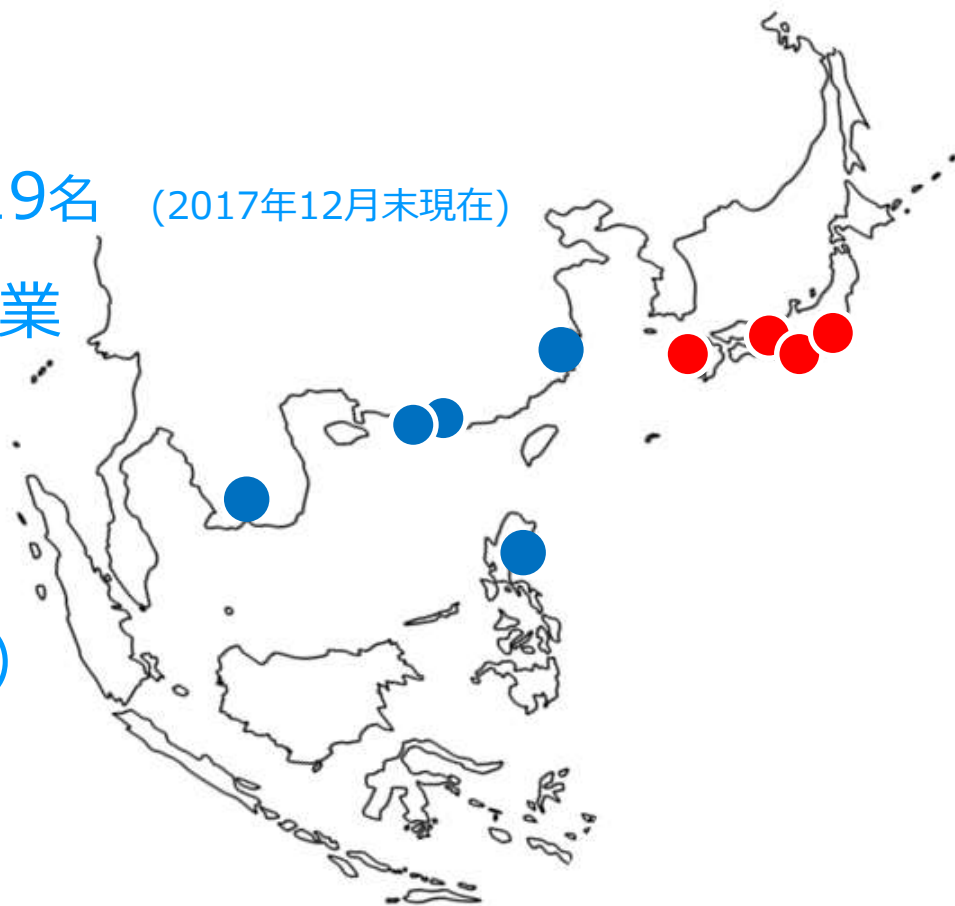
代表取締役社長 又川 鉄男

本日の説明内容

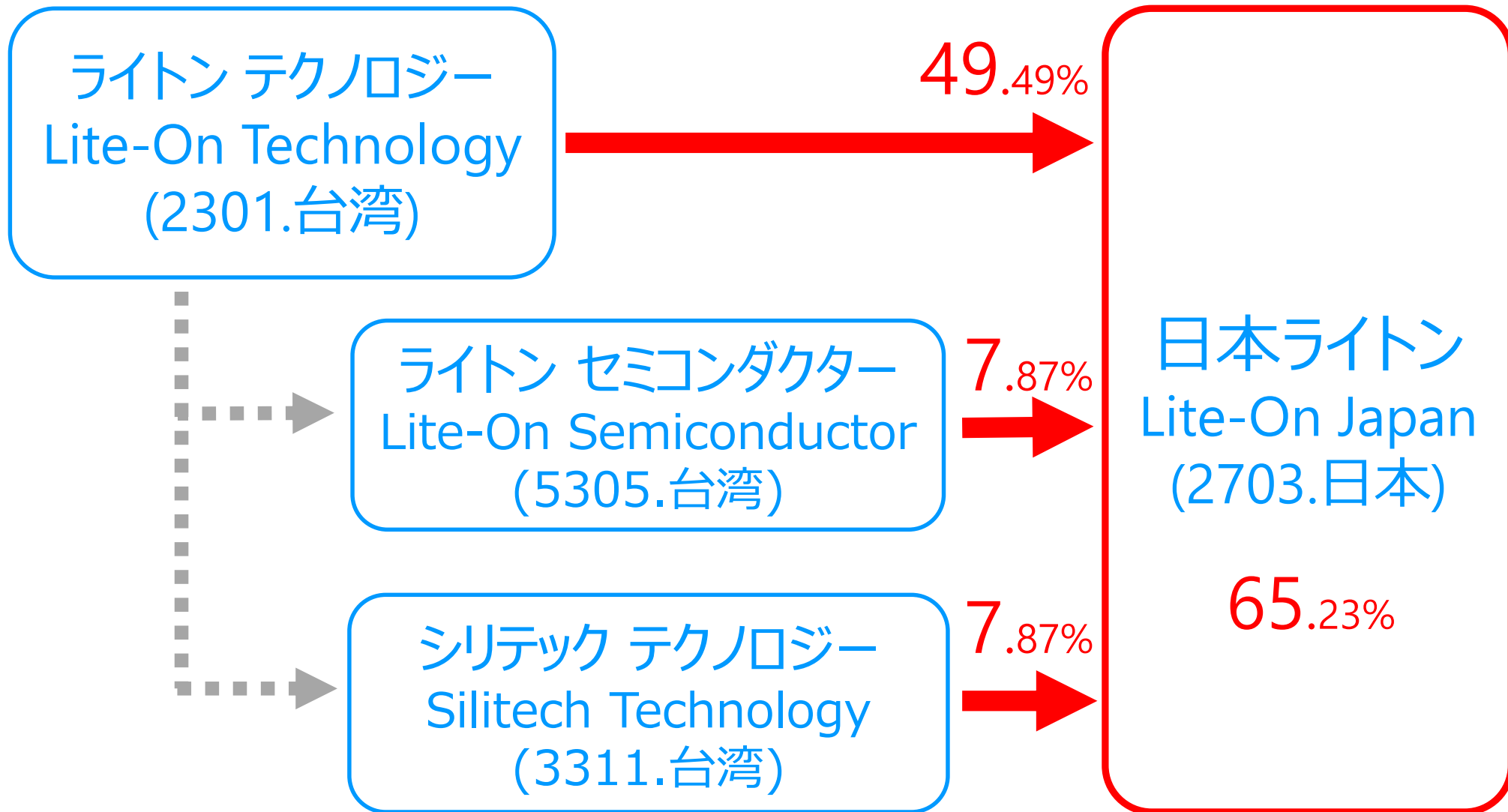
- 日本ライトンの概要
- 2017年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2018年12月期 業績見通し
- 質疑応答

会社概要

- 設立 : 1985年 (昭和60年) 8月14日
- 本社 : 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル 8階
- 資本金 : 6億5,000万円
- 従業員数 : 単体 79名 連結 319名 (2017年12月末現在)
- 事業内容 : 一般電子部品の卸売事業
- 国内拠点 : 東京本社 大阪
名古屋 福岡
- 海外拠点 : 香港 中国(上海・深圳)
タイ フィリピン



ライオングループと日本ライオン



米国ナスダック市場に上場する、グループ企業 Diodes Inc.(DIOD. NASDAQ)も主要な仕入先です。

事業内容とビジネスモデル

日本およびアジア地域を中心に
日系企業向けの電子部品・モジュール製品のビジネスを展開



多機能プリンター



家電



産業機器



IoT
スマートライフ



スマートフォン
携帯電話



車載機器

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2017年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2018年12月期 業績見通し
- 質疑応答

発表のポイント

2017年12月期 実績

➤ 増収増益

- ・ 連結売上高 137億 7,500万円 (前年同期比+2.3%)
- ・ 当期純利益 1億 900万円 (同+44.7%)

➤ コンポーネント製品は、白物家電や産業機器市場の旺盛な需要の取り込みに成果をあげ、前年同期比22.3%の増収。

➤ モジュール製品は一部プロジェクトの立上げ時期調整の影響を受け減収。

2017年12月期 連結 損益計算書

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
売上高	13,469	13,775	306	2.3%
売上総利益	1,421	1,567	146	10.3%
販売管理費	1,311	1,338	27	2.1%
営業利益	109	229	120	109.1%
経常利益	115	245	130	111.5%
当期純利益	75	109	34	44.7%
為替レート	110.29円	112.38円	2.09円	-

2017年12月期 連結 貸借対照表 主要指標

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
純資産	2,653	2,744	91	3.4%
有利子負債	406	226	△180	-
自己資本比率	40.2%	39.8%	△0.4%	-
有利子負債比率	6.1%	3.3%	△2.9%	-
総資産	6,603	6,889	286	4.3%
DEレシオ	0.15	0.08	△0.07	-

2017年12月期 連結 キャッシュフロー

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期
営業活動による キャッシュフロー	66	△16
投資活動による キャッシュフロー	0.9	△17
財務活動による キャッシュフロー	△355	△196
現金および 現金同等物期末残高	2,371	2,123

2017年12月期 収益性 指標

	2016年 通期	2017年 通期	増減
一株当たり 当期純利益 (EPS)	6.08円	8.80円	2.72円
自己資本当期純利益率 (ROE)	2.8%	4.1%	1.3%
総資産経常利益率 (ROA)	1.7%	3.6%	1.9%

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2017年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2018年12月期 業績見通し
- 質疑応答

カテゴリー分類

コンポーネント

LED(可視光・赤外) ディスクリフト
アナログIC トランスフォーマー etc.



モジュール

スキャナーユニット カメラモジュール
CIS(密着イメージセンサ) SSD
電子機器の受託開発・製造 etc.



パワーサプライ

USBチャージャー
ACアダプター 組込み電源 etc.

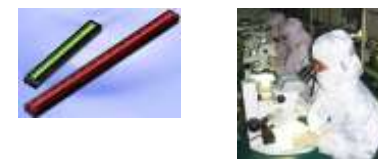
マテリアル

モバイル端末向け機構部品
Wi-Fiモジュール 電子部品向け材料 etc.



製造・検査

電子部品・モジュールの受託製造
半導体材料の検査

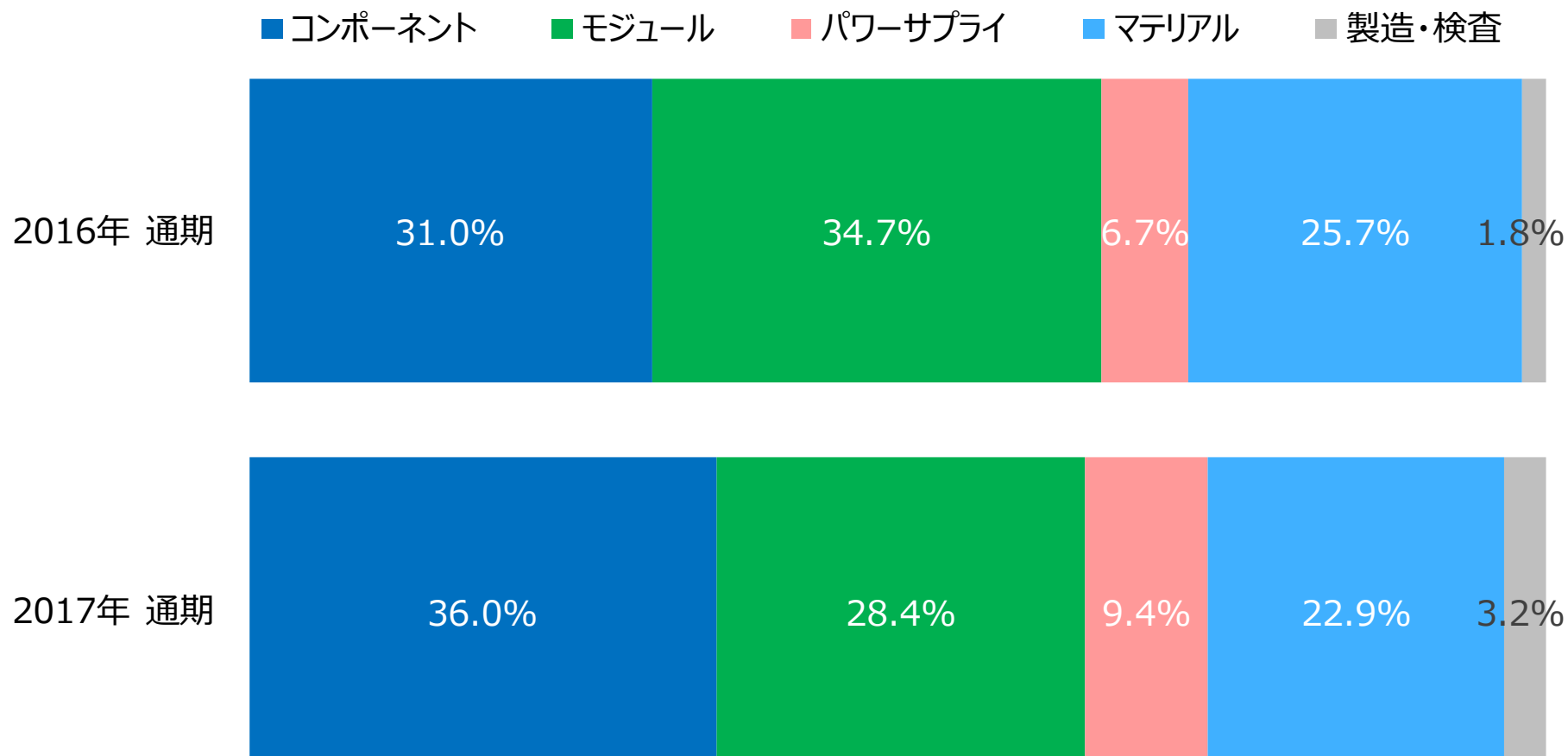


カテゴリー別 連結売上高

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
コンポーネント	4,180	5,113	933	22.3%
モジュール	4,676	4,036	△640	△13.7%
パワーサプライ	898	1,337	440	49.0%
マテリアル	3,466	3,248	△218	△6.3%
製造・検査	249	453	204	82.1%
合計	13,469	13,775	306	2.3%

セグメント間の内部売上高を含んでいます。

カテゴリー別 連結売上高 構成



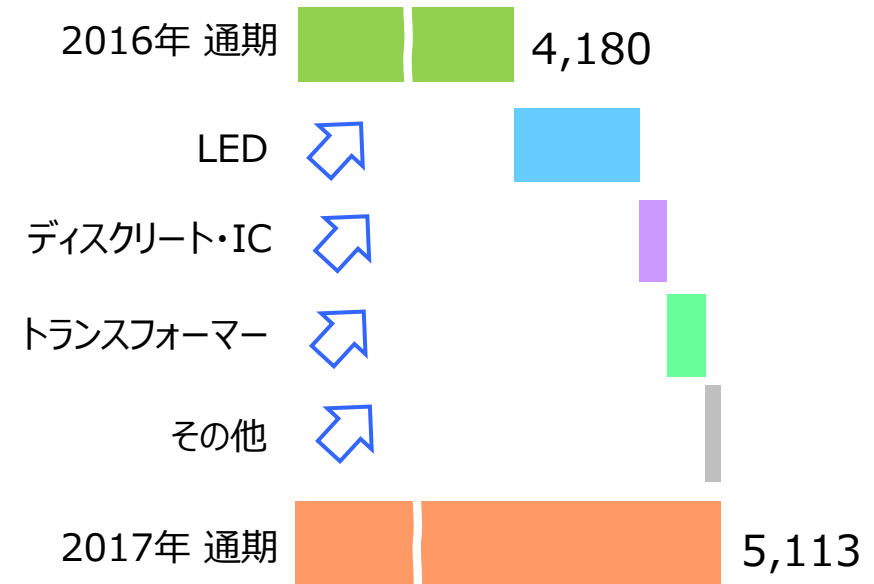
製品別内訳 (コンポーネント)

<製品別概況>

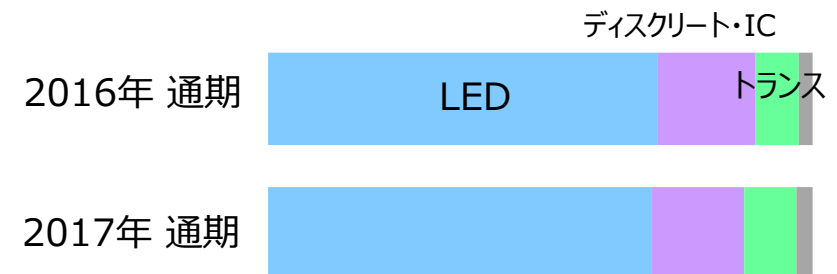
(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
LED(可視光・赤外光)	2,991	3,603	612	20.5%
ディスクリート・IC	753	870	118	15.6%
トランスフォーマー	332	491	159	47.8%
その他	104	149	44	42.7%
合計	4,180	5,113	933	22.3%

- LED(可視光・赤外光)
白物家電や産業機器市場の旺盛な需要に支えられ、
表示用LEDやフォトカプラー等を中心に増収。
- ディスクリート・IC
電源回路向けディスクリート製品を中心に増収。
- トランスフォーマー
家電、OA機器等の新規顧客獲得により増収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



製品別内訳 (モジュール)

<製品別概況>

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
スキャナーユニット	2,731	2,193	△538	△19.7%
カメラモジュール	681	188	△493	△72.3%
CIS(密着イメージセンサ)	1,066	1,263	197	18.5%
その他	198	392	194	98.1%
合計	4,676	4,036	△640	△13.7%

□ スキャナー

ローエンドモデル市場の低迷により19.7%の減収となるも、既存顧客向け新規プロジェクトの受注に成功。

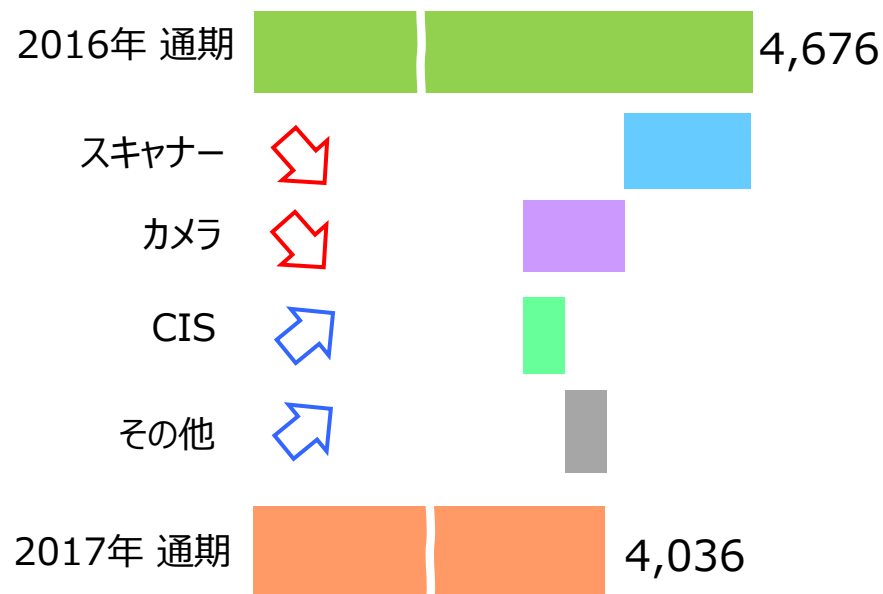
□ カメラ

携帯電話市場の縮小により72.3%の減収。IoT等、新市場への種まきを展開中。

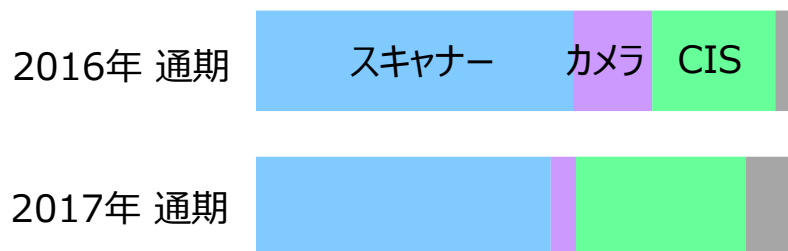
□ CIS(密着イメージセンサ)

多機能プリンター(MFP)向けハイエンドCISの好調により増収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



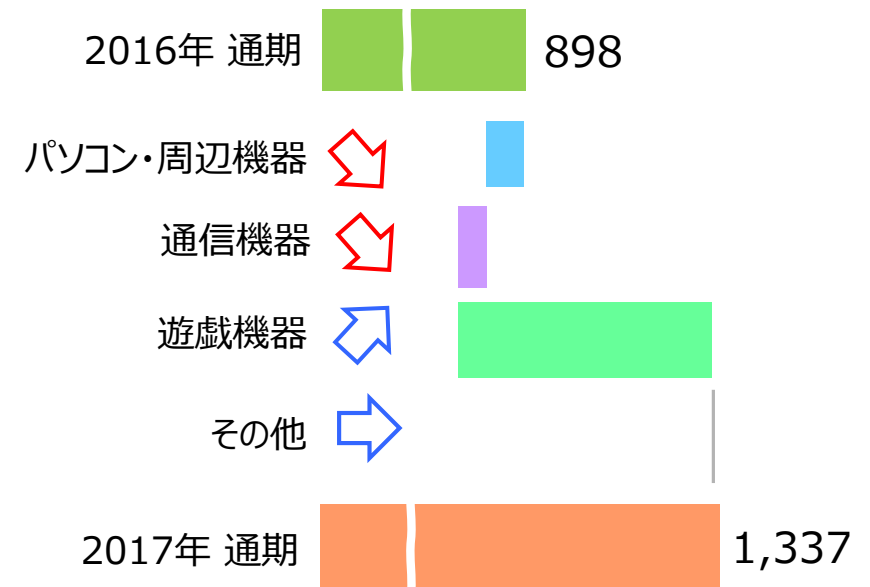
製品別内訳 (パワーサプライ)

<製品別概況>

(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
パソコン・周辺機器	262	156	△105	△40.2%
通信機器	434	356	△78	△17.9%
遊戯機器	175	795	620	358.8%
その他	27	29	2	8.0%
合計	898	1,337	440	49.0%

- 通信機器
コードレス電話市場の縮小により減収。
- 遊戯機器
新製品の受注好調により増収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



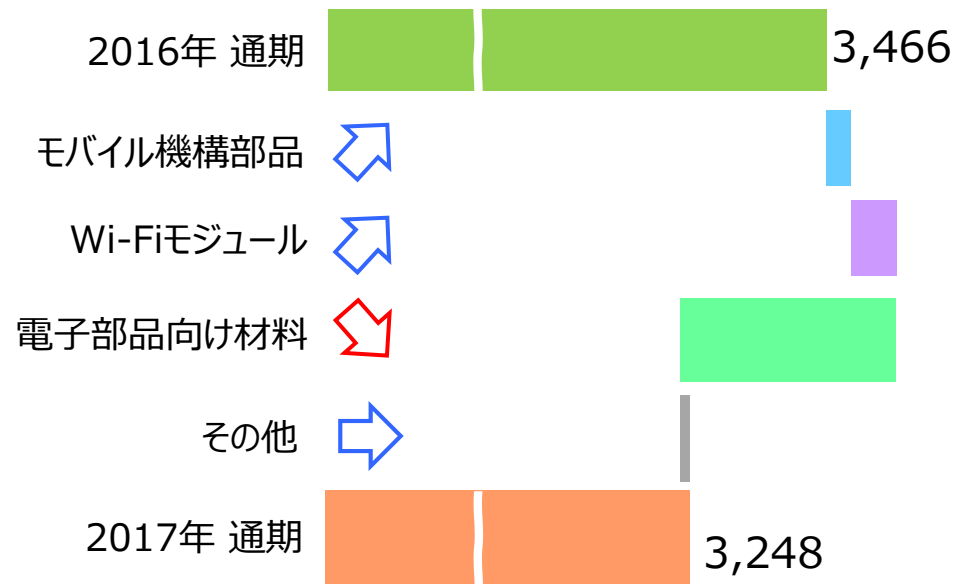
製品別内訳 (マテリアル)

<製品別概況>

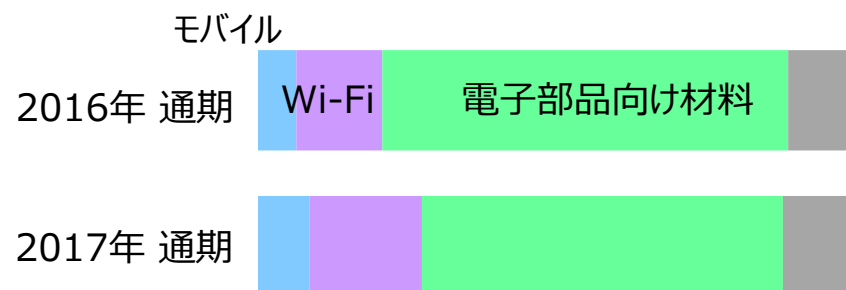
(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
モバイル端末向け機構部品	222	279	57	22.5%
Wi-Fi モジュール	499	610	111	22.2%
電子部品向け材料	2,350	1,959	△391	△16.6%
その他	395	400	5	1.4%
合計	3,466	3,248	△218	△6.3%

- モバイル端末向け機構部品
スマホ・タブレット向けキーパッド需要減の影響を受けるも
金属・プラスチック筐体の新規プロジェクトを受注し増収。
- Wi-Fi モジュール
オーディオ機器向け新モデルの出荷が好調により増収。
- 電子部品向け材料
OA機器向け部材出荷の減少により減収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



製品別内訳（製造・検査）

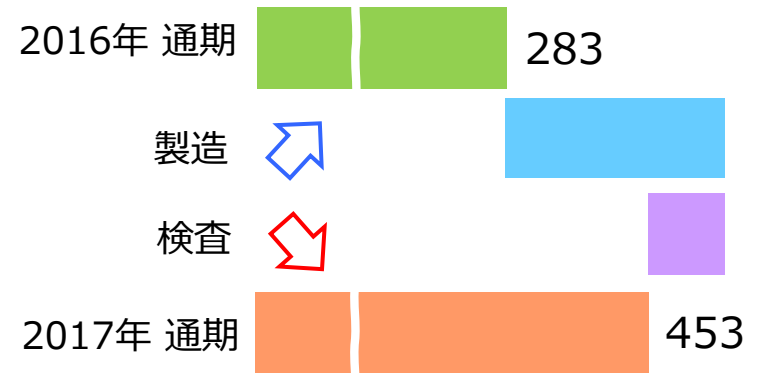
<製品別概況>

	(百万円)	2016年 通期	2017年 通期	増減	増減%
製造		49	345	296	605.0%
検査		234	108	△126	△53.9%
合計		283	453	170	60.2%

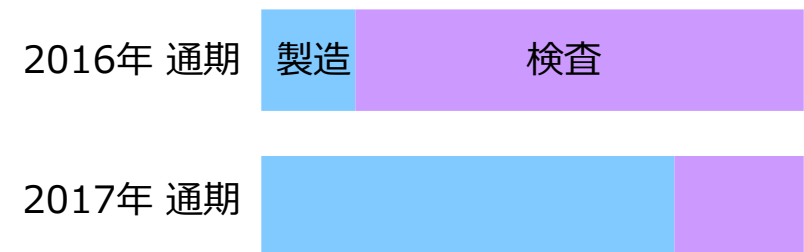
セグメント間の内部売上高を含んでいます。

- 製造
CISの受託製造が順調に推移し増収。
- 検査
主要顧客の日系から台湾系へのシフトが継続し減収。

<製品別売上高増減>



<製品別売上高構成>



本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2017年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2018年12月期 業績見通し
- 質疑応答

2018年12月期 業績見通し

(百万円)	2017年 通期	2018年 見通し	増減	増減%
売上高	13,775	14,500	725	5.3%
当期純利益	109	120	11	9.5%
一株あたり 当期純利益 (EPS)	8.80円	9.64円	0.84円	

- 連結売上高 145億円(前年同期比+5.3%) 純利益 1億2,000万円(同+10.1%)を計画。
- コンポーネント製品は引き続き、白物家電、産業機器市場等での立ち位置を高める。
- Wi-FiモジュールやLPWAモジュールなど、IoT関連機器市場における種まきを継続展開。

本日の説明内容

- 日本ライトンの概要
- 2017年12月期 決算概要
- カテゴリー別 事業の概況
- 2018年12月期 業績見通し
- 質疑応答

ご静聴ありがとうございました。

日本ライオン株式会社

URL: <http://www.lite-on.co.jp>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル

問合せ先： 企画管理部 企画・IRチーム

〔免責事項〕

本資料は、決算の業績及び事業に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容における将来の業績予想に関する情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づいて判断し作成されており、その予想の達成や計画は経済環境、販売競争の激化等の様々な外部要因及び内部要因の変化により、実際の成果や業績については本資料の見通しと大きく異なる場合がありますことをお含みおください。